

第129回秋期大会開催のご案内

第129回秋期大会は、日本大学津田沼キャンパスにおいて下記の日程で開催します。なお、参加申込については8月号に、プログラムは9月号に掲載します。

会 期	(1) 研究発表講演会	平成27年11月21日(土)、22日(日)
	(2) ポスターセッション	平成27年11月21日(土)
	(3) 表彰式	平成27年11月21日(土)
	(4) 市民フォーラム	平成27年11月21日(土)
	(5) 懇親会	平成27年11月21日(土)
	(6) カタログ・機器展示	平成27年11月21日(土)、22日(日)
	(7) 企業交流会	平成27年11月21日(土)、22日(日)

大会会場 日本大学生産工学部 津田沼キャンパス39号館
(〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1 JR津田沼駅北口バス乗り場から京成バスで約15分)
懇親会会場 日本大学生産工学部 津田沼キャンパス39号館2F

第129回秋期大会講演募集

講演申込締切 平成27年7月9日(木) 23:59までにWeb申込
概要集原稿締切 平成27年8月27日(木) 12:00事務局必着

講演内容：講演は原則として未発表のもので論文としてまとめたもの。

講演形式：口頭発表（一般セッション、テーマセッション）、またはポスター発表（ポスターセッション）

発表方法：(1) 口頭発表の講演時間は、原則として、発表15分、討論5分です。

(2) ポスター発表の在席時間は1時間30分で、ポスターは翌日12時まで展示します。

(3) 口頭発表について、プロジェクトのみ用意します（PCは持参）。

(4) 英語での発表も可能です。

申込資格：発表者は本学会会員に限ります。非会員の方は、入会手続きをお願いします。

申込方法：軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/> からお申込下さい。

(1) インターネットサービスに新規登録する

(2) 「講演大会・国際会議」―「講演大会」―「募集中の大会」をクリック

(3) 「講演申込」画面の内容に従い、講演申込を行う

※ 講演発表に伴い入会される方は、6月18日(木)までに入会申込書とともに本年度分会費を送付下さい。

送付の際は、現金書留にて、入会申込書とともに本年度分会費を同封のうえ、「講演申込のために会員番号の事前連絡を希望」とのメモを必ず添付して下さい。会費を口座自動振替とする場合は、会員番号がお手元に届くまで1か月以上かかりますので、ご注意下さい。なお、学生会員の会費口座自動振替は今回より受け付けませんのでご了承下さい。

※ 講演申込にあたって、講演形式を、口頭発表／ポスター発表／どちらでもよい／テーマセッション（4テーマ）から選択下さい。口頭発表またはどちらでもよいを選択した場合は、続いて講演分類を選択下さい。

※ 第127回より講演分類と選択方法を変更しました。大分類（対象材料）および5つの小分類（現象、用途、検出・解析方法、目的、材料形状）からそれぞれ該当するものを選択下さい。従来と異なる切り口でのプログラム編成を考えています。

※ ポスターセッション充実の目的は、口頭発表によるパラレルセッションを可能な限り解消するためであり、50件程度のポスター発表を見込んでおります。次頁のポスター発表募集をご覧下さい。多くのポスター発表申込を期待しております。

講演申込費（消費税込）：2,000円 テーマセッション、ポスターセッションも同じです。（講演申込と同時に郵便振替、小為替または現金書留でご送金下さい。）

※ 講演申込費は講演申込事務にかかる費用です。講演発表者をはじめ、大会に参加する方は、別途、大会参加登録（軽金属8月号に案内を掲載します。大会参加費は予約申込の場合、正会員6,000円、学生会員3,000円です）が必要です。

郵便振替口座番号：00100-3-66805（加入者名：一般社団法人軽金属学会）

問 合 先：一般社団法人軽金属学会 事務局 〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 塚本素山ビル6階

Tel (03)3538-0232 Fax (03)3538-0226 E-mail: shomu@jilm.or.jp

講演申込費の振込みについてお願い

事務局での入金確認のため、参加者ご本人以外、例えば、大学、企業等から講演申込費を銀行振込みされる場合は、必ず、①申込者名および申込受付No、②振込日、③振込金額、をFax：03-3538-0226またはE-mail: shomu@jilm.or.jpにご連絡ください。ご協力を宜しくお願い申し上げます。

第129回秋期大会ポスター発表募集

軽金属学会講演大会のポスターセッションを充実させております。
—学界、業界を問わず奮ってご応募下さい—

- * 優秀ポスター発表賞を軽金属学会会長名で表彰
- * 表彰者を学会誌「軽金属」および「学会ホームページ」に写真入りで紹介
- * 学界、業界を問わず、35歳以下の正会員からのポスター発表も表彰の対象
- * ポスター発表時間：1時間30分 十分なディスカッションが可能

実施方法

- (1) 対象者：正会員，学生会員の希望者。ただし，同一発表者による複数のポスター発表はできません。
- (2) 幅1200×高さ1800mmのパネル1枚を予定しています。ポスターサイズはA0版（幅841mm×高さ1189mm）が標準。パネルの前に机は置けません。
- (3) 在席時間は1時間30分とします。ポスターは9:00から12:00までに掲示を済ませ、翌日12:00まで展示します。15:00以降に残っているポスターは撤去します。
- (4) 概要集に掲載しますので、講演発表者と同様、概要原稿を提出して下さい。

講演申込費：1件につき2,000円（ポスター発表申込と同時に郵便振替，小為替または現金書留でご送金下さい。）

第129回秋期大会テーマセッション講演募集

第129回秋期大会では、下記の4テーマでテーマセッションを企画致しました。テーマセッションは、キーノート講演と一般講演で構成され、充実した討論を通じて参加者相互の実りある情報交換の場を提供することを目的としています。奮ってご応募ください。

テーマ1：「難燃性マグネシウム合金展伸部材創製のための最新技術開発3」

趣 旨：汎用マグネシウム合金（Mg-Al系合金等）にカルシウムを添加した合金（難燃性マグネシウム合金）は、汎用マグネシウム合金よりも著しく高い難燃特性を有するため、高い安全性が必要とされる鉄道車両構体等の輸送機器や建築部材等への適用が検討されつつあります。第127,128回大会では、「難燃性マグネシウム合金展伸部材創製のための最新技術開発1, 2」が企画され、合金設計技術、塑性加工技術、材料モデルの開発や変形特性の解明、接合技術、表面処理技術等について活発な議論が行われました。本テーマセッションにおきましても、難燃性マグネシウム合金展伸部材を作製するための最新の研究成果を広く募り、討論を通じて、今後の方向性を継続的に探ります。

世 話 人：鎌土 重晴（長岡技術科学大学）、清水 和紀（三協立山㈱）、井上 正士（不二ライトメタル㈱）、河部 望（住友電工㈱）、石川 武（㈱総合車両製作所）、部谷森 康親（大日本塗料㈱）、千野 靖正（産業技術総合研究所）、森 久史（鉄道総合技術研究所）

テーマ2：「結晶方位解析とその応用」

趣 旨：金属材料の結晶方位は様々な材料特性に強く影響を及ぼす。材質向上のための材料プロセス制御による優先方位や集合組織の制御が、将来的な資源循環を考慮した高性能材料の開発には欠かせない技術となり得る。最近では、EBSD、TEM、X線回折、中性子回折、放射光などによる結晶方位解析技術が大きく進歩するとともに、種々の解析ソフトウェアが開発され、単なる方位解析ツールに留まっていない。本テーマセッションでは、このような結晶方位解析技術を利用し、高性能材料の実現を目指した結晶方位制御に必要な優先方位形成メカニズムの解明、結晶方位分布と材料特性の関係の明確化、結晶方位制御のための材料プロセスの最適化、ならびにこれらと関連した計算機シミュレーションや予測モデルの構築を目的として、結晶方位解析に関する基礎から応用までの広範囲な議論を行う場としたい。本テーマセッションへの気軽な参加を歓迎します。

世 話 人：井上 博史（大阪府立大学）、福富 洋志（横浜国立大学）、高山 善匡（宇都宮大学）、柴柳 敏哉（富山大学）

テーマ3：「アルミニウム合金の熱処理に関連した最近の原子空孔・溶質クラスタ・GPゾーンおよび時効析出研究とその検出方法」

趣 旨：時効硬化型アルミニウム合金の用途は、従来の建築部材を中心とした構造材料に加え、自動車用材料など多岐にわたるものとなってきた。時効硬化型アルミニウム合金は、様々な加工法や成形法と、熱処理との組合せが必須であることは周知の事実である。また自動車産業においてはエネルギー効率を向上させ、かつCO₂等の排気ガスを低減させるため、アルミニウム合金等の軽量素材を利用して車体の軽量化が図られており、時効硬化型アルミニウム合金の需要は今後ますます拡大すると見込まれる。熱処理による機械的・物理的性質の変化は、GPゾーン、最近では原子空孔と溶質原子で構成されるクラスタに支配されるとされ、高分解能透過型電子顕微鏡法、3次元アトムプローブ法、高感度熱分析法、陽電子消滅法やミュオンスピン緩和スペクトル法など、様々な方法によってその挙動を直接的あるいは間接的にとらえようとする研究がなされている。

本テーマセッションでは、各種時効硬化型アルミニウム合金に対する種々の熱処理と、GPゾーン、溶質クラスタ、原子空孔の挙動との関連について明らかにすることを目的として、これら合金の最近の時効硬化、時効析出に関する研究ならびにそれらの現象を有効に検出すると考えられる手法についての最新の情報交換を行うことを目的とする。

世 話 人：松田 健二（富山大学）、西村 克彦（富山大学）、柴柳 敏哉（富山大学）、布村 紀男（富山大学）、渡邊 功雄（理化学研究所）、松崎 禎市郎（理化学研究所）、里 達雄（東京工業大学）、廣澤 渉一（横浜国立大学）、伊藤 吾朗（茨城大学）、友野 大（京都大学）、櫻井 健夫（㈱神戸製鋼所）、浅野 峰生（㈱UACJ）、蔵本 遼（㈱UACJ）、高木 英俊（三協立山㈱）、谷畑 弘之（YKK AP㈱）、吉田 朋夫（アイシン軽金属㈱）

テーマ4：「軽金属の先端的表面の創成とその機能2」

趣 旨：アルミニウム、マグネシウム、チタンなどの軽金属の特徴は、その表面に酸化皮膜を比較的簡単に生成させることができ、その皮膜の物理的、化学的性質を制御することで、意匠性や耐食性をはじめメンブレンフィルタなど、極めて広範囲の機能を与えることができることである。昨年の秋期大会でも盛況であった本テーマセッションを今回も開催するので、アルミニウム、マグネシウム、チタンを始めとする軽金属材料に対して先進的に制御された表面の構築方法や表面特性に関する最新の研究成果を幅広く募集する。

世 話 人：世利 修美（室蘭工業大学）、小野 幸子（工学院大学）、阿相 英孝（工学院大学）、西本 明生（関西大学）、春名 匠（関西大学）